

## 貯水槽清掃作業従事者研修カリキュラム例

## &lt;カリキュラムの考え方&gt;

1. 7時間以上を確保する。
2. 科目ごとの講義時間は、研修内容により適切な時間を設定する。
3. 2年目以降のカリキュラムは、研修内容から取捨選択し、設定する。

## 1年目カリキュラム

研修科目	研修内容	時間
貯水槽の清掃方法	作業用機械器具と取扱い/作業計画及び作業の実際 ※必要に応じて実技訓練を行う。	90分
貯水槽の塗装方法	塗料の選定/塗装の種類と方法/塗装に必要な機器/貯水槽塗装の手順と注意/塗装作業の安全対策/塗装後の消毒及び水質検査/留意点	60分
貯水槽の消毒方法 (貯湯槽含む)	飲料水と人の健康/病原性微生物と健康影響/化学物質と健康影響/人体と水/ 飲料水の衛生と管理/消毒の意義と定義/消毒方法/消毒時における留意点/消毒剤の規格/水の消毒方法/消毒液の作り方/残留塩素の測定方法	60分
安全及び衛生	衛生的な貯水槽清掃の実施/作業中の事故防止/緊急時の処置/作業報告書の作成	60分
建築物の環境衛生行政	貯水槽清掃に関する関係法令/労働安全を基準とした関係法令/構造基準としての関係法令	60分
作業従事者の責任と任務	貯水槽清掃の目的/マナー	30分
給水設備と機器	貯水槽の構造/関連機器の名称と機能	60分

## 2年目以降カリキュラム

研修科目	研修内容	時間
貯水槽の清掃方法	作業用機械器具と取扱い/作業計画及び作業の実際/給水設備の維持管理 ※必要に応じて実技訓練を行う。	120分
貯水槽の塗装方法	塗料の選定/塗装の種類と方法/塗装に必要な機器/貯水槽塗装の手順と注意/塗装作業の安全対策/塗装後の消毒及び水質検査/留意点	60分
貯水槽の消毒方法と感染症対策	消毒の意義と定義/消毒方法/消毒時における留意点/消毒剤の規格/水の消毒方法/消毒液の作り方/残留塩素の測定方法/各感染症 (レジオネラ症)	60分
安全及び衛生	衛生的な貯水槽清掃の実施/作業中の事故防止/緊急時の処置/作業報告書の作成/電気の取扱い	60分

上記科目は必修、他は以下のカリキュラムから選択する。

建築物の環境衛生行政	貯水槽清掃に関する関係法令/労働安全を基準とした関係法令/構造基準としての関係法令	60分
作業従事者の責任と任務	貯水槽清掃の目的/マナー	30分
給水設備と機器	貯水槽の構造/関連機器の名称と機能	60分
貯湯槽の清掃方法	給湯設備の概要/貯湯槽清掃の意義/温度の管理/清掃方法/水質管理	60分